

令和2年度第2回三重県医療審議会救急医療部会議事概要

開催日時：令和3年2月26日（金）

19:00～19:34

WEB 会議

（1）「第7次三重県医療計画」における救急医療対策の中間見直しについて

（委員）中間案に寄せられたご意見等について、記載内容に異論はないが、松阪地域の救命救急センターについては、例えば三重大学が高度救命救急センターになっていく方向は賛成だが、三重大学の負担も多く大きくなるので、松阪だけでなく、津、松阪、あるいは伊勢のほうも含めてもう一つ救命救急センターがあったほうが良いとずっと前から思っている。ただそれを実現するためには、例えば松阪にある3つの病院がどのような話し合いをしているか、地域での医師会も含めた病院の在り方がどのような状況で、どんな話し合いが行われているのか。仮に松阪の3つの病院のどれかが救命救急センターになった時に、現状を充実段階評価に当てはめてみてどれくらいの点数がとれるかということも検討していかないと、救命救急センターになったけれど評価がCではいかがかと思うがどうか。

（事務局）松阪地域の3病院の在り方も含めて、現在進行中という認識をしているところだが、委員おっしゃるとおり松阪地域への救命救急センターの設置については、まず地元で救急医療の在り方も含めてしっかり議論していただく必要がある。そういった状況も見つつ、地元の方々の意見等も伺いながら進めていかなければいけないと考えている。充実段階評価については、設置にあたって、評価を十分満たすものになるかどうか、その辺の状況もみながら私どもも進めていければと考えている。

（部会長）中間評価書については、修正無しということで事務局案のとおりでよろしいか。ご異議無しと認め、そのように決定した。

（2）三重県ドクターヘリの運航状況について

（3）傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準（医療機関リスト、その他基準及び資料編）の変更について

（委員）三重県ドクターヘリの運航は減っているが、奈良県の応援が多い理由は何か。

（委員）出動件数が減っている理由の大部分は天候不良で、特に強風である。強風もしくは雲が低いというのがある。ヘリコプターは、分厚い雲が山の上にかかっていると雲を越えて向こうに行くことはできない。風が強いから飛べないことと、奈良県のヘリコプターが飛べる理由は、奈良県から特に伊賀、名張へ飛ぶときは山の影響を受けないので飛んでくれる。しかしながら、奈良県のヘリコプターが伊賀、名張へ飛んで、さらに山を越えて三重大学や伊勢赤十字病院へ

患者を運ぶことはできないので、その場合、奈良県のほうに戻るのが基本である。

(委員) 資料3で桑名市総合医療センターが重症の外傷と熱傷が削除されている。受け入れないという事か。

(事務局) 桑名市総合医療センターの削除については、桑名地域のメディカルコントロール協議会での協議の結果に基づいて行っている。今後は搬送状況も見ながら実施基準の医療機関リストの修正についても取り組んでいきたい。

(委員) 桑名市総合医療センターが抜けると重症の外傷とかは青木記念病院かもりえい病院、当番制で抜けてしまうと、四日市のほうか海南病院に搬送されることになるのか。

(事務局) この医療機関リストに無いからといって、搬送できないものではない。搬送については、地域の輪番制であるとか、地域のルールに基づいて搬送していくということが基本となる。

(委員) 2次医療圏で頑張ってもらいたいと思うのでよろしく願います。